

令和6年度 清水町立清水中学校 学校だより

六華の教え 自立・共生・協力 ・挑戦・探求・創造

令和7年2月26日 第23号文責 校長 内田得裕



燃える闘魂

令和4年10月1日(土)、アントニオ猪木さん(享年79歳)が心不全で逝去されました。私は高校時代にプロレスにはまり、帯広で開催された時は闘魂Tシャツをきて応援に足を運びました。自分にとってヒーローの一人です。報道番組や多数のメディアで特集が組まれるなど、多くの人々に愛された猪木さん。猪木さんについての思い出は皆それぞれ心の中に「アントニオ猪木」があり、ある時はリング上で戦う“プロレスラー”として、そしてある時は“政治家”として、またイラクでの人質解放の時は“国民の英雄”として、多くの人々から絶大な支持を受けてきました。その偉大な足跡は改めて各所に知れ渡り、日本のみならず世界中から弔意が示されています。

今回は猪木さんが残した名言を少しだけ紹介させていただきます。

**この道をゆけばどうなるものか、危ぶむなけれ、危ぶめば道はなし、踏み出せば
その一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ 行けばわかるさ。**

日本プロレス入団、アメリカ武者修行、新日本プロレスの旗揚げ、そして、「プロレスこそ全ての格闘技の頂点である」その最強を証明するためにボクシング世界チャンピオンのモハメド・アリとの格闘技世界一決定戦など誰もが踏み出さなかつた「一足」を踏み出し、自ら道をつくり続けた猪木の人生そのものを表現しているようです。「勇気を出すことの大切さ」「行動することの大切さ」そして、最後「挑戦の先にある確かな成長」を表現しています。

元氣があれば、何でもできる！

私が一番好きな名言です。猪木と言えば、「元気ですかー！！！」この問いかけで、周りの人を元気にしている。そして、元気こそが生きる力、耐える力、乗り越える力になる。結局、元氣があれば何でもできる。私もそう思っています。

道はどんなに険しくとも、笑いながら歩こうぜ。

人生という道を歩んでいると、時に心が折れそうになる険しい登り坂や下り坂があります。そんな時でも「笑いながら歩くこと」そうすることで元気が湧いてくる。だから、笑おう。そういうメッセージがこの名言には込められているように感じます。

**馬鹿になれ とことん馬鹿になれ 恥をかけ とことん恥をかけ かいてか
いて恥かいて 裸になつたら見えてくる 本当の自分が見えてくる 本当の
自分も笑ってた それくらい 馬鹿になれ**

中途半端に格好をつけてしまい、そのしょうもないプライドのせいで損をした。そんな経験、誰にもあるのではないでしょうか。私もあります。今振り返ってみれば、本当に小さなプライドだったなと思います。もっと馬鹿になって、恥をかいて、裸になって、助けを求めればよかった。そう思うことがあります。本当の自分を発見し、本当の自分で常に勝負する自分でいたいものです。

花が咲こうと咲くまいと、生きていることが花なんだ。

人生で「一花、咲かせる」。一般的には人生の目標が「一花咲かせること=成功すること」のように言われます。でも、この世に生を受けたこと自体が本当に奇跡です。無数にある生命の中で人間として生きていること自体が奇跡。自分が生まれる前の両親の出会い、そのまた両親の出会い、そのまた、たった一つの出会いがなかっただけでも今ここに自分はない。常にそう考えられないにせよ、「生きていることが花だ」そう思って生きていきたいですね。

3月行事予定

- 4・5日 公立高校入学検査
- 4日 清水町学校運営協議会
- 7日 薬物乱用防止教室
- 12日 卒業式総練習
- 14日 卒業式（12:00 下校）
- 20日 清水町文化・スポーツ賞表彰式
- 24日 修了式・離任式
- 25日～年度末休業

性教育

1月28日（火）、31日（金）に2学年性の学習を行いました。講師は清水町保健師 遠藤加奈さん、和嶋寧音さんです。人数の都合によりクラスごとに実施しました。

内容は「思春期のこころの変化」「他者との付き合い方・向き合い方」「デートDV」「子育て」についてです。

パーソナルスペースの実験では、初対面の人、担任、友達との距離感の違いを視覚的に理解するとともに、距離の取り方には個人差があるため、日常生活での人との距離の保ち方について考えることができました。また、グループワークではデートDVについて考えました。相手が傷つかない伝え方やどのような付き合い方が良いのかなど、真剣に話し合う様子が見られました。

赤ちゃん人形の抱っこ体験では、赤ちゃん人形の重みと慣れないう抱っこに苦戦する姿が多くみられました。中には慣れた手つきで抱っこする様子も見られ、グループの中で教えあう様子も見られました。

周囲とのかかわり方や自分の意思を伝えることは簡単なことではありませんが、相手の気持ちと自分の気持ちを大切にしてほしいと思います。また、悩みを相談できる大人を探し、頼る力を身につけてほしいと願います。

2月20日（木）に清水町保健師 倉重千晶さん、遠藤加奈さんに1学年性の学習の講話をしていただきました。

前半はパワーポイントを使用して、体の変化についてお話をいただき、後半は妊婦体験を実施しました。緊張した表情を見せながらも真剣に話を聞く様子が見られました。また、妊婦体験では、初めての体験に驚きながらも楽しんでいる様子が多くみられました。ほんの数分の体験でしたが、腰や肩に痛みを感じていたり、日常生活での不便さを実感したりすることができました。

中学生に入り、成長のスピードの違いに焦ったり、気持ちの変化に動搖したりする場面がこれから出てくるかもしれません。今回の講話で『個人差』というキーワードがたくさん出てきたので、自分のペースで心身ともに成長していってほしいと思います。

部活動等の記録

ついに十勝Bに今回も快勝しました。またバドミントンでは1年生の部で伊藤里彩さんが3位入賞しました。おめでとう。

☆アイスホッケー連盟会長杯 2／15

十勝A（近藤雄太） 優勝 vs 十勝B 4-3、7-2

☆全十勝バドミントン学年別シングルス大会 2／22

伊藤里彩 1年生の部 3位、吉田昇太郎 1年生の部 ベスト16

森井汐音 2年生の部 ベスト16、富田夏楓 2年生の部 ベスト16



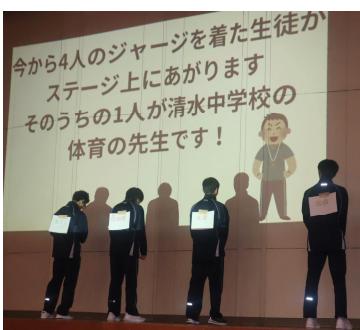
しゃっこい祭り吹奏楽演奏

2月16日（日）に清水町しゃっこい祭りが開催され、清水中吹奏楽部も参加させていただきました。祭りのオープニングを務めさせてもらい、2曲披露しました。その後は清水ジュニアプラスバンドと一緒に演奏させてもらいました。とても素敵でしたよ。清水ジュニアプラスバンドとの合同演奏は演奏者がたくさんいて迫力のある演奏になりました、やっぱり吹奏楽にとって人気は大切ですね。4月にたくさん入部してくれることを祈っています。



新入生説明会

2月10日（月）に清水小学校6年生および保護者に来校いただき、入学説明会を実施いたしました。



13時15分からは清水中学校2年生との交流を行いました。まずは生徒会役員によるスライドを見てもらいながら清水中学校の紹介を行いました。その後は小学6年生と中学2年生が混合でチームを作り、清水中学校にまつわるクイズ大会を行いました。少しでも中学校になれてもらうために2年生がアイディアを出し合い、とにかく楽しくなれるよう考えてくださいました。6年生は最初緊張していたものの、2年生が優しく元気に盛り上げてくれて最後のジェスチャーゲームではみんな大きな声を出しながら楽しむことができました。

その後、校長から六華の教えについて、杉井教諭から学習に関わること、佐々木教諭から生活に関わることの説明をさせてもらいました。また、他に新得警察署



に依頼し、ネット犯罪被害防止についての説明を保護者の方に向けて、お話をもらいました。

現在、清水小・中学校の一貫教育が少しずつ進行しています。少しでも小学校6年生がスムーズに中学校に移行できるようさらに工夫をしていきたいと思っています。清水小学校6年生の皆さん、安心して楽しく中学校生活を送れるように、中学校一同準備をお待ちしています。



大雪

清水町は素早く丁寧な除雪を行っていただき、6日（木）から生徒が登校できましたが、他の市町村では週末まで通常の対応が出ないところもあったようです。



2月3日（月）から4日（火）にかけて十勝地方は記録的な大雪になりました。帯広市や音更町では一晩にして1mを超える降雪があり、十勝中の様々な機能が停止しました。清水中学校でも4・5日の2日間を臨時休業として対応しました。私の記憶では降雪による臨休が複数日というのは初めての経験です。



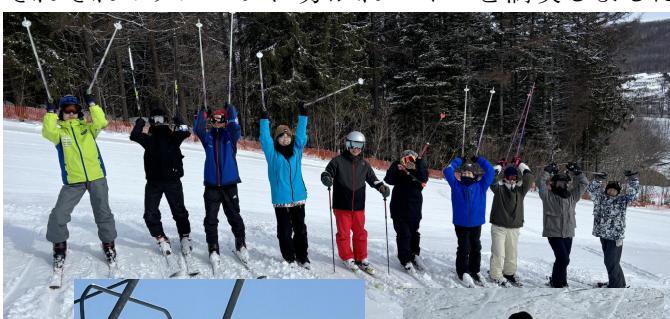
また、この大雪により駐車場など広い場所は大型重機で除雪をしていただいたのですが、細かい場所は人手に頼るしかありません。清水中職員もフル活動でしたが、サッカー部が自主的に除雪を行ってくれて、国道からの階段を除雪してくれました。みんなでわきあいあいと楽しみながらとってもきれいにしてくれました。本当にありがとうございます！！



スキー学習



それぞれのグループに分かれスキーを満喫しました。たった3時間の中でも



先日の大雪のおかげで、新得スキー場がオープンし、1年生は2月21日（金）、2年生は2月18日（火）にスキー学習を行うことができました。両日とも素晴らしい晴天・無風で楽しく半日を過ごすことができました。とっても上手な生徒からほぼ初心者の生徒までめきめき上達している生徒がたくさんいて、感動していました。今年も清水スキー協会の方々に講師として対応していただきました。本当にありがとうございました。
(3年生ごめんなさい)

